

動画『都市計画マスタープラン見直し骨子案について』原稿

スライド・操作	原稿
スライド1	<ul style="list-style-type: none">● 都市計画マスタープラン見直し骨子案（見直しの視点）についてご説明いたします。
スライド2	<ul style="list-style-type: none">● 都市計画マスタープランは、アニメ市の最上位の計画である総合計画で描かれた「めざすまちの姿」を実現するために、アニメ土地利用や基盤整備に関する方針を定める計画です。● 市が定める都市計画は、本計画に即すことが求められます。● また、住民、事業者、行政との間で、まちづくりの方向性を共有する「まちづくり指針」としての役割もあります。● 本計画が令和4年度で見直し時期を迎えることから、
スライド3	<ul style="list-style-type: none">● 昨年度から、次期総合計画の策定と都市計画マスタープランの見直しを連携して取り組んでいます。● 各種調査、また公募及び無作為抽出により、ご参加いただいている市民の皆さんで構成する「まちづくり市民懇話会」等においてのご意見を一体的にいただき、総合計画と整合を図りながら、土地利用や基盤整備の分野について、都市計画マスタープランとしてまとめていきます。● この度、都市計画マスタープランの見直しの視点を骨子案としてとりまとめ、8月2日から9月2日でパブリックコメントを実施します。● 本日は、その骨子案について、ご説明いたします。
スライド4	<ul style="list-style-type: none">● まず、総合計画骨子案のうち、都市計画マスタープランと最も係わりが深い、都市構造の部分についてご説明いたします。
スライド5	<ul style="list-style-type: none">● まず現在の、岸和田市の土地利用に関する大きな方向性について、ご説明いたします。● 本市は大阪湾と和泉山脈に挟まれた、海から山に至る地勢と長い歴史のなかで、アニメ大阪臨海線より海側の工業・流通業を中心とした「臨海区域」、アニメ大阪臨海線から都市計画道路泉州山手線までを、暮らしの場、働く場と様々な要素をもつ「都市区域」、アニメその山手の概ね阪和自動車道沿道までを農業振興機能を担う「田園区域」、アニメさらに山手は和泉葛城山に代表される「山間区域」と、4つの特徴ある土地利用がされており、それに応じた暮らしや産業、また景観が形成されています。● これら多様な地域資源を活用し、つなげ、人や物が盛んに行き交い、経済活動が盛んで、住み続けたいと思うようなまちを目指しており、

スライド・操作	原 稿
スライド6	<ul style="list-style-type: none"> ● アニメ市域を縦断する河川が形づくっている谷筋に沿って、海と山をつなぐ「地域連携軸」と、アニメ带状に形成されている4つの区域で市域を横断し、大阪都心部と関西空港や和歌山を結ぶ「広域連携軸」により、市域内及び市域を越えた交流・活動の発展を目指しています。
スライド7	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の見直しの視点としましては、 ● 全国的な人口減少・超高齢社会がまち・生活に与える影響として、アニメ経済活動からみると、例えば店舗であれば、経営において利用圏内の人口が重要になります。高齢化による行動範囲の縮小や、人口減少などによる人口密度の低下により、利用圏内の人口が減少し、経営が困難になる恐れがあります。その結果、店舗等が減少すると、働く場が減少し、 ● また、アニメ市民生活において生活の利便性が低下します。 ● 生活の利便性が低下することにより、また人口減少につながる恐れがあり、アニメ引いては税収の減少、行政サービスの低下を招き、アニメまた人口減少へと悪循環を招くことが懸念されます。
スライド8	<ul style="list-style-type: none"> ● このようなことが起こらないように、都市構造の方向性としては、 ● アニメ無秩序な市街地の拡散を抑制する ● アニメ生活を支える機能が集積した拠点を適切に配置・誘導し、拠点へのアクセス性を高める ● アニメ広域連携の強化の3点を挙げています
スライド9	<ul style="list-style-type: none"> ● 続いて、見直し骨子案について、見直し箇所を中心にご説明いたします。下線表示している箇所が見直し箇所になります。 ● 今回の見直しのポイントとして、大阪府内、また近隣府県と連携して活性化を図る広域連携型都市構造の視点を新たに追加しています。 ● アニメこれまでの本市のさまざまな資源をつなぐ地域連携に加え、 ● アニメ関西国際空港をはじめとする泉州地域の資源をつなぎ・活かすため、観光分野の、泉州地域の市や町と民間企業が連携する KIX 泉州ツーリズムビューロー、防災分野の、泉州地域災害時相互応援協定などのように、さまざまな場面で泉州地域における広域連携を推進すること ● また、アニメ岸和田市の活性化につなげるため、広域ネットワークを活かした連携を推進していくこと、を追加しています。
スライド10	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用の基本方針では、都市構造の方向性を踏まえて、拠点の形成と効果的で持続可能な交通ネットワークの形成の視点を追加します。
スライド11	<ul style="list-style-type: none"> ● 区域別の土地利用方針では、

スライド・操作	原 稿
スライド 12	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市区域では、和泉中央駅から府道牛滝山貝塚線へつながる泉州山手線が、熊取町の国道 170 号まで計画されており、その延伸に応じて、交通結節点を中心に地域特性を活かした広域交流拠点を形成し、産業創出を図ることを位置付けます。
スライド 13	<ul style="list-style-type: none"> ● また、アニメ田園区域においては、幹線道路沿道は、地域経済の活性化を目的とした産業の立地については、周辺土地利用との調和と環境保全を図りつつ、適切に誘導することを位置付けます。
スライド 14	<ul style="list-style-type: none"> ● また、拠点とネットワークの構築を目指し、新たに拠点の設定を行います。 ● 拠点については、これまで都市計画マスタープランに記載していましたが、臨海区域の工業拠点、都市区域の駅周辺、田園区域の岸和田丘陵地区に加えて、計画道路泉州山手線と幹線道路との交通結節点を中心とした拠点の形成を位置付けます。
スライド 15	<ul style="list-style-type: none"> ● 続いて、都市計画マスタープランの骨子案について、説明をさせていただきます。
スライド 16	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の都市計画マスタープランの見直しは、現行の計画を基本としつつ、社会情勢の変化やまちづくり市民懇話会等での議論を踏まえて、必要な見直しを行います。
スライド 17	<ul style="list-style-type: none"> ● 見直しの視点として大きく 2 点あげています ● アニメ一つ目の視点は、総合計画との整合です。 ● 先程の都市構造に加えて、総合計画の骨子案では、アニメ6 つの基本目標と、アニメ岸和田を強くする「3 つの戦略」を設定しており、 ● 素案の策定にあたっては、これら総合計画と整合を図りながら進めます
スライド 18	<ul style="list-style-type: none"> ● 二つ目の視点として、生活利便性・快適な住環境、健康・福祉、安全・安心、地域・経済、行政運営、協働の視点から整理しています。
スライド 19	<ul style="list-style-type: none"> ● ここで、現在の都市計画マスタープランがスタートする直前の平成 22 年、西暦 2010 年と昨年の 2020 年までの市民意識調査結果の変化について、代表的な項目をご説明します。
スライド 20	<ul style="list-style-type: none"> ● 「多彩な魅力と活力を備えたまちづくり」では、「商工業に活気がある」が、アニメ10 年前と比べて増加傾向にあるものの、2020 年に 10.6% となっており、低い状況があります。 ● 増加要因としては、阪南 2 区や岸和田丘陵地区の企業立地等が挙げられますが、一方でその伸びは小さく、企業立地の状況などが認知されていないことも考えられます。

スライド・操作	原 稿
スライド 21	<ul style="list-style-type: none"> ● 「鉄道駅周辺の市街地に活気がある」と感じている市民の割合は、東岸和田駅前が整備され、春木駅がリニューアルされたことなどにより、アニメ10年前と比べて増加の傾向がみられるものの、20.4%と低い状況があります。
スライド 22	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地元の商店や商店街で頻繁に買い物をする」市民の割合は、アニメ2020年に41.4%となっており、減少傾向にあります。 ● 一方で、アニメ2018年と比べて2020年に上昇がみられるのは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、身近な商店などで買い物をする機会が増加したと推察されます。
スライド 23	<ul style="list-style-type: none"> ● 「農業や漁業に魅力がある」と感じている市民の割合が、アニメ2020年には35.8%と増加がみられ、その魅力が再認識されつつあると考えられます。
スライド 24	<ul style="list-style-type: none"> ● 続いて、「環境にやさしい、みどり豊かなまちづくり」に関する、2020年の市民意識調査結果は、アニメ「みどりが豊かである」が52.2%に対して、アニメ「心安らぐ公園や親水空間などが身近にある」が39.1%と低い状況が見られます。
スライド 25	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域で守り育てる景観まちづくり」では、「景観がよく保全されている」と感じている市民の割合が、アニメ10年前と比べて増加傾向にあるものの、22.5%と低い状況があります。
スライド 26	<ul style="list-style-type: none"> ● 続いて、「災害に強いまちづくり」についてです。 ● 多数の人が利用し、また災害時には避難場所や災害応急対策活動拠点となる市有建築物の耐震化の状況は、学校教育施設は2015年度末に完了し、その他の優先的に耐震化を実施する市有建築物の耐震化率は、アニメ2020年に約90.2%となっています。 ● 一方でアニメ「地域の防災力が高まっている」と感じている市民の割合は、24.4%となっており、大きな変化は見られない状況があります。
スライド 27	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人にやさしいまちづくり」では、「市内をスムーズに移動できる」と感じている市民の割合がアニメ2020年には36.1%となっており、都市計画道路の整備率が約53%から約60%に伸びたこともあり、10年前と比べて増加傾向がみられるものの、その増加幅が小さい状況があります。 ● これについては、アニメ多彩な魅力と活力を備えたまちづくりにおいても、特に関連性が深い事柄と考えています。
スライド 28	<ul style="list-style-type: none"> ● また、アニメ「安心して歩道を通行することができる」が28.0%
スライド 29	<ul style="list-style-type: none"> ● アニメ「ユニバーサルデザイン化が進んでいる」が10.7%となっており、増加傾向がみられるものの、低い現状があります。

スライド・操作	原稿
スライド 30	<ul style="list-style-type: none"> ● 最後に、「まちづくりを支える仕組み」に関連する項目の 2020 年の市民意識調査結果は、アニメ「市役所から発信される情報がわかりやすい」が 37.8%と、2014 年と比べて減少傾向がみられます。 ● 制度が多様化・複雑化するなか、よりわかりやすい情報発信の必要性が高まっている状況があります。
スライド 31	<ul style="list-style-type: none"> ● また、「この 1 年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある」が 22.9%と減少がみられ、
スライド 32	<ul style="list-style-type: none"> ● 「多くの市民や事業者が公共的な活動を行っている」が 15.0%で、増加幅が小さい状況がみられます。 ● これら現状と
スライド 33	<ul style="list-style-type: none"> ● 前半でご説明いたしました総合計画における都市構造の考え方を踏まえ、今回の見直しの視点として、 ● アニメ生活利便性の視点では、日常生活サービス機能の適正な配置誘導や無秩序な居住地拡散の抑制、交通インフラの持続的な仕組みづくり、また、地域特性・課題に応じた対応策の検討を挙げています。 ● アニメ健康・福祉の視点では、例えば、高齢者が活動しやすい環境づくりとして、日常生活サービス機能の配置や交通に加え、公園や広場の有効活用、また、農業への魅力の高まりと、農地法が改正され、農家以外の方も農地を貸借できる制度ができたことも含め、農地の利用促進を挙げています。 ● アニメ安全・安心の視点では、激甚化する災害への対応
スライド 34	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・経済の視点では、商業施設の適切な配置に加えて、工業・流通拠点の配置・集積や、また働く場の環境として、交通を挙げています。 ● アニメ行政運営では、効率的・効果的な行政経営を挙げています。現在、本市における都市計画道路の整備率は約 60%、都市計画公園の整備率は約 38%となっています。都市計画マスタープラン改定後には、未着手の都市計画道路や公園について、現在の社会情勢を踏まえて、その必要性を検証する必要があると考えております。 ● アニメ協働・連携の仕組みにつきましては、総合計画とも連携をしながら、協働・連携の仕組みについて協議・検討を行い、効果的な情報発信を含めて、土地利用や基盤整備を中心としたまちづくりの仕組みについて検討していく必要があると考えております。
スライド 35	<ul style="list-style-type: none"> ● 最後に今後のスケジュール案についてですが、

スライド・操作	原 稿
スライド 36	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日、ご説明いたしました都市計画マスタープランの見直しの視点をまとめた骨子案について、アニメ8月2日から9月2日まで、パブリックコメントを実施します。 ● なお、パブリックコメントの実施にあたり、地域ごとの説明会・意見交換会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を考慮し、開催を中止いたしました。ご予約いただいていた皆様には、ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程お願いいたします。 ● アニメ今後、パブリックコメントでいただいたご意見、市民懇話会での議論等を踏まえて、都市計画マスタープランの素案を策定してまいり、アニメ令和4年度夏頃に素案についてのパブリックコメントの実施、アニメ令和4年度冬頃の改定、を目指しています。
スライド 37	<ul style="list-style-type: none"> ● それでは最後に、今回意見を募集するパブリックコメントについて、ご説明します。 ● アニメパブリックコメント実施の目的は、今後、「都市計画マスタープラン素案」を作成するため、骨子案の段階で、皆さまにご意見をお聞きするものです。 ● いただいたご意見は、その内容を検討し、その検討結果と理由等について、後日、市のホームページで公表します。 ● アニメご意見の募集期間は、令和3年8月2日（月曜日）から、令和3年9月2日（木曜日）までです。 ● 郵送でご意見を提出される場合は、締切日当日の消印有効です。 ● アニメご意見の提出方法は、ご覧のとおりで、「意見公募提出用紙」に記入する方法と、市のホームページから提出する方法があります。 ● 「意見公募提出用紙」に記入する場合は、記入した用紙を市役所の都市計画課まで持参・郵送・ファックスでお送りください。 ● なお、「意見公募提出用紙」は、市ホームページに掲載しているほか、市役所、各市民センター、山滝支所に備え付けています。 ● インターネットから提出する場合は、表示のURL、または、QRコードから市ホームページにアクセスし、ご意見と必要事項を入力して、ご提出ください。 ● 以上で、「都市計画マスタープラン見直し骨子案について」の説明を終わります。 ● 皆さまからのご意見をお待ちしております。ご視聴ありがとうございます。